

研 究 分 野	資源評価	部 名	資源管理部
研 究 課 題 名	資源評価調査委託事業		
予 算 区 分	漁業調整費（委託者 10 / 10）		
試験研究実施年度・研究期間	H.12 ～ H.17		
担 当	黄金崎 栄一		
協 力 ・ 分 担 関 係	水産振興課、水産庁、（独）東北区水産研究所八戸支所、（独）日本海区水産研究所、（独）中央水産研究所		

〈目的〉

我が国周辺海域における漁業資源の適切な保存及び合理的、持続的な利用を図る上で資源診断、動向及び適切な管理方法の検討を行うため、必要な基礎資料を整備する。

〈試験研究方法〉

1 漁場別漁獲状況調査

岩崎村漁協、鱸作漁協、風合瀬漁協、大戸瀬漁協、鰯ヶ沢漁協、下前漁協、小泊漁協、八戸漁連、八戸魚市場（株）、三沢市漁協、六ヶ所村海水漁協、白糠漁協、小田野沢漁協、尻労漁協、尻屋漁協、野牛漁協、関根浜漁協、大畑町漁協、脇野沢村漁協、横浜町漁協、野辺地町漁協、蓬田村漁協、蟹田町漁協、平舘村漁協、今別町西部漁協、竜飛漁協の漁獲台帳から、月別、魚種別、銘柄別漁獲量を fresco(Fishery Resource Conservation)システムへ入力した。

2 生物測定調査

大戸瀬漁協、鰯ヶ沢漁協、平舘村漁協、八戸みなと漁協、八戸魚市場（株）から購入した 10 魚種（ヒラメ・スルメイカ・マダラ・スケトウダラ・キジ・マアジ・マイワシ・カサチイシ・マサバ・ゴマサバ）について魚体測定及び精密測定（体長、体重、性別、生殖腺重量等）を実施し、fresco システムへ入力した。

3 卵稚仔及びクロロフィル分析調査

日本海においては、北緯 40 度 36 分、東経 139 度 00 分から北緯 41 度 00 分、東経 140 度 16 分の海域、太平洋においては北緯 40 度 32 分、東経 145 度 20 分の海域で調査し、分析した。

〈主要成果の具体的なデータ〉

表 1 から 3 のとおり、fresco システムによりデータを送信した。

〈今後の問題点〉

〈次年度の具体的な計画〉

継続して委託調査を実施する。

〈結果の発表・活用状況等〉

漁業者、学識経験者、行政機関が参加する資源評価会議で資源水準や動向を検討し、その結果は、水産庁が「我が国周辺水域の漁業資源評価」として印刷物を作成すると同時に、インターネットでも掲載し、広く一般国民までの範囲で公表している。

表1 水揚げ状況調査実績

調査地	漁業種類	対象魚種	調査項目	漁獲月毎の測定回数													
				4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計	
岩崎	定置・刺網・いか釣	浮魚類・底魚類・スルメイカ 注1)	月別銘柄別漁獲量	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
へなし	定置・刺網	浮魚類・底魚類・スルメイカ 注1)	〃	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
へなし	定置	浮魚類・底魚類 注1)	〃	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
深浦	底曳	浮魚類・底魚類 注1)	〃	1	1	1			1	1	1	1	1	1	1	1	10
深浦	いか釣	スルメイカ 注1)	〃			1	1	1	1	1			1	1			7
風合瀬	定置・刺網	浮魚類・底魚類・スルメイカ 注1)	〃	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
大戸瀬	定置・刺網・いか釣	浮魚類・底魚類・スルメイカ 注1)	〃	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
大戸瀬	定置	浮魚類・底魚類・スルメイカ 注1)	〃	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
鰐ヶ沢	底曳	底魚類 注1)	〃	1	1	1			1	1	1	1	1	1	1	1	10
鰐ヶ沢	いか釣	スルメイカ 注1)	〃	1	1	1	1		1				1				7
下前	いか釣・刺網・定置	浮魚類・底魚類・スルメイカ 注1)	〃	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
小泊	いか釣・刺網・定置	浮魚類・底魚類・スルメイカ 注1)	〃	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
竜飛	定置・刺網	浮魚類・スルメイカ 注2)	〃	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
今別	定置・刺網・いか釣	浮魚類・スルメイカ 注2)	〃	1	1	1	1							1	1	1	7
平館	定置・刺網・いか釣	浮魚類・スルメイカ 注2)	〃	1	1	1	1	1						1	1	1	8
蟹田	定置・刺網	浮魚類 注2)	〃	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1				9
脇野沢	定置・刺網	まだら・浮魚類 注2)	〃	1	1	1	1	1		1	1	1	1	1	1	1	11
大畑	定置・刺網・いか釣	浮魚類・スルメイカ 注2)	〃	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
関根浜	定置・刺網	浮魚類・スルメイカ 注2)	〃	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1				9
野牛	定置・刺網・いか釣	浮魚類・スルメイカ 注2)	〃	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1				9
尻屋	定置・刺網・いか釣	浮魚類・スルメイカ 注2)	〃	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1				9
尻労	定置・刺網・いか釣	浮魚類・スルメイカ 注2)	〃	1	1		1	1	1	1	1	1	1				8
白糖	定置・刺網・いか釣	浮魚類・スルメイカ 注2)	〃	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
六ヶ所海水	定置・刺網・いか釣	浮魚類・スルメイカ 注2)	〃	1	1	1	1	1	1	1	1	1					8
三沢	定置・刺網・いか釣	浮魚類・スルメイカ 注2)	〃	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
八戸	大中旋網	浮魚類 注2)	〃	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
八戸	沖合底曳網	底魚類 注2)	〃				1	1	1	1	1	1	1	1			7
八戸	小型底曳網	浮魚類・底魚類・スルメイカ 注2)	〃	1	1	1			1	1	1	1	1	1	1	1	10
八戸	いか釣り	スルメイカ 注2)	〃			1	1	1	1	1	1	1		1			7
八戸	定置網	浮魚類・底魚類・スルメイカ 注2)	〃	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1			10
八戸	刺し網	浮魚類・底魚類・スルメイカ 注2)	〃	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
				28	28	29	28	27	28	28	27	27	27	24	20	20	314

注1) マアジ・マサバ・マイワシ・ウルメイワシ・カタクチワシ・スケトウダラ・ブリ・マダラ・ホッケ・ハタハタ・ヒラメ・マダイ・アカガレイ・ムシガレイ・ソウハチガレイ
・マガレイ・ニギス・ヤリイカ・ベニズワイガニ

注2) マダラ・スケトウダラ・ヒラメ・キチジ・イトヒキダラ・ズワイガニ・マイワシ・カタクチワシ・マサバ・ゴマサバ・マアジ・ヤナギムシガレイ・サメガレイ・アンコウ

表2 市場測定員実績

魚種	海域	配置	サンプリングの区分	漁獲月毎の測定回数												測定内容	測定項目	1回当たり 測定尾数
				4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計		
ヒラメ	日本海	大戸瀬	市場		1	1							2	1	2	7	体長組成	100
スルメイカ	"	鰐ヶ沢・下前	市場			1	1	1	1							4	精密測定 体長組成	100
マサバ	"	鰐ヶ沢	"														体長	100
マガレイ	日本海	岩崎・大戸瀬・鰐ヶ沢	市場			1		1						1		3	精密測定	400
ブリ	日本海	大戸瀬	市場			2	1	2								9	精密測定	21
マアジ	太平洋	平館	市場		1				1	1	1	1		1		6	精密測定	50
マイワシ	"	"	"		2	1			1	1	1			1		7	"	50
マサバ	"	"	"			1			1	1	1	1				5	"	50
カタクチワシ	"	"	"		1	1	1			1		1		1		6	"	50
スルメイカ	"	八戸	市場・釣り					1	1	2	2	2				8	"	20
マイワシ	"	八戸	市場・旋網						1		1					2	"	60
カタクチワシ	"	"	市場・旋網				1	1	2	1	2	1				8	"	60
マサバ	"	"	市場・旋網				1	1	3	2						7	"	100
マアジ	"	"	市場・旋網				1	1	3	2						7	"	50
マサバ	"	"	市場・底曳									2	1	1		4	体長組成	200
ヒラメ	"	"	市場・底曳・刺網		2			1	1	2	2	1	1	1	2	13	"	30
キチジ	"	"	市場・底曳		3	1	1				1		1	2		9	"	30
合計					10	8	8	8	15	15	12	13	4	10	2	105		

表-3 沖合海洋観測等調査実績

対象海域	船名(馬力、トン数)	調査項目	月別調査日数及びサンプル数												調査方法	
			4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計	
日本海	東奥丸(1,200馬力、140トン)	卵稚仔 プランクトン	20	20	20									20	80	LNPネットの150m鉛直曳き
太平洋	開運丸(1,200馬力、207トン)	"						12		12				12	36	LNPネットの150m鉛直曳き
"	東奥丸(1,200馬力、140トン)	"			12										12	LNPネットの150m鉛直曳き
"	開運丸(1,200馬力、207トン)	クロロフィル						100			100			100	300	0-150m、ニスキン採水器による
"	東奥丸(1,200馬力、140トン)	"			100										100	0-150m、ニスキン採水器による